

平成 22 年 6 月 21 日現在

研究種目：基盤研究B

研究期間：2007年～2009年度

課題番号：19320054

研究課題名（和文）東アジア（日本・中国・韓国）における歌謡の比較研究

研究課題名（英文）Comparative Research of *kayo* in East Asia (Japan, China and South Korea) funded by Science Research Fund (Basic Studies B)研究代表者 真鍋 昌弘
(072) 805-2801 (代)

研究者番号：70084168

研究成果の概要（和文）：

本研究は東アジア（日本・中国・韓国）における歌謡の比較研究であり、また今後の比較研究の基礎を作るため、三カ国の歌謡資料の網羅的収集・分類・整理・翻訳を目的に行ったもので、大きな成果を収めることができた。また歌謡が伝承されている地域に赴いて現地調査を行い、歌謡の実態やその背景にある人々の労働・生活・信仰などの資料も収集できた。

研究成果の概要（英文）：

This is the comparative research of *kayo* in East Asia (Japan, China, and South Korea). In order to construct the basis of future research, we collected these three countries' materials on *kayo*, then categorized and interpreted them. This was fruitful work. This research included fieldwork in target places. We investigated the actual condition, the background of *kayo*, and acquired information about people's works, lives and religions.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
19年度	6,200,000	1,860,000	8,060,000
20年度	4,400,000	1,320,000	5,720,000
21年度	4,000,000	1,200,000	5,200,000
年度			
年度			
総計	14,600,000	4,380,000	18,980,000

研究分野：人文学分科文学

科研費の分科・細目：各国文学・文学論

キーワード：歌謡 民謡 民歌 東アジア 比較 文献資料 実地調査 民俗

1. 研究開始当初の背景

日本・中国・韓国における歌謡の研究はそれぞれの国で行い、国際的交流がほとんどなく、比較研究もなかった。それで東アジアの歌謡の比較研究を通じて、相互に関連の深い3カ国の伝承文芸や生活文化、さらには国民性の考究に寄与することを企図したものである。

2. 研究の目的

(1) 日本・中国・韓国における稲作農耕にかかわる歌謡資料の網羅的収集・整理。

(2) 日本・中国・韓国における現存稲作農耕歌謡の現地調査。

(3) 歌謡研究の比較検討に基づいた共同研究およびその成果の公刊。

3. 研究の方法

(1) 日本・中国・韓国の三つの班に分け、海外の研究者と密接な連絡を取りながら効率的に作業を積み上げた。

(2) 定期的に会合を設けて作業のまとめを行い、研究計画の実施へ向けて、内容・方法などについて議論を行った。

(3) 三カ国において研究者の研究会を設け、歌謡資料の整理・現地調査の結果をめぐって比較研究を行った。

4. 研究成果

研究計画に基づいて、次の研究成果を収めることができた。

(1) 日本・中国・韓国における歌謡文献収集と調査を行い、比較研究に必要な基本資料は購入・複写した。それに基づいて、三カ国の歌謡資料文献目録を作成した。

(2) 歌謡文化が伝承された地域に赴いて現地調査を行い、調査結果をまとめた。

(3) 歌謡文献収集と調査、および現地調査の機会に、現地の研究者と交流を展開し、共同研究の基盤を作った。また日本・中国・韓国の大学・学会・シンポジウムにおいて本研究を取り上げて講演を行い、本研究をめぐる研究発表を行った。

(4) 2008年秋田県で開催された「東アジア国際民俗学会」の大会において、本研究グループは「東アジアにおける稲作農耕歌謡」のテーマで国際シンポジウムを開いた。

(5) 2009年には本研究にかかわった三ヶ国の研究者を日本に招き、研究代表者所属の関西外国語大学において「東アジアにおける農耕文化とウタ」というテーマで国際シンポジウムを開催し、大きな成果をあげた。

(6) 研究成果の社会還元・普及事業として

「ひらめき☆ときめきサイエンス」を実施。本研究に関連して、「日本・中国・韓国における農耕文化と歌」のテーマで高校生を対象に本研究の目的や研究成果などを紹介した。

(7) 日本・中国・韓国の歌謡を代表する作品を選定して翻訳をおこなった。

①日本の『田植草紙』を中国語訳・韓国語訳。

②中国『嘉善田歌』『労働歌』を日本語訳。

③韓国『嶺南伝来民謡集』『田植歌』を日本語訳。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 11 件)

①真鍋昌弘「船曳歌と拉纤号子」『東方』2007

②牛承彪「日本の生産叙事歌謡と稲作儀礼の構造」『日本思想文化研究』2007

③真鍋昌弘「歌謡史と口承文芸」日本口承文芸学会編『ことばの世界』2008

④真鍋昌弘「歌謡圏における地域という課題—上州の歌謡を軸として—」『群馬学の確立にむけて』2008

⑤真鍋昌弘「日本民謡における類型表現の諸相」『韓国民謡学第23輯』2008

⑥井出幸男「民謡の保存と活用[よさこい節]の変遷と[ふるさと文化再興事業]を中心に—」『韓国民謡学』23輯 2008

⑦牛承彪「民謡の保存と応用に存在する問題について」『韓国民謡学』23輯 2008

⑧真鍋昌弘「日本歌謡史研究の回顧と今後の方向」『韓国民謡学』27輯 2009

⑨真鍋昌弘「中国陝西省華県雨乞背花太鼓踊と日本雨乞風流太鼓踊」『東方』346巻 2009

⑩牛承彪「中国南方少数民族歌謡研究の回顧」『韓国民謡学』27輯 2009

⑪牛承彪「中国ミャオ族の[慶宝山]行事と生産叙事歌謡をめぐって」『日本歌謡研究』2009

[学会発表] (計 21 件)

(1) 国内・海外学会

①2007年中国江蘇省常熟市白茆民間文化国際学術シンポジウム(日本側の代表真鍋昌弘「中国と日本の民謡研究」)

②2008年アジア江文化国際学術大会(櫻井龍彦「川をめぐる社会学的考察」)

③2008年アジア江文化国際学術大会(牛承彪「巡行する龍蛇—奈良県田原本町今里と

鍵の事例一)

- (2) 2008年東アジア国際民俗学会(秋田)
- ①井出幸男「稲作と民俗芸能：『巷謡編』に見る土佐の一年を主軸として」
 - ②永池健二「再興された古代稲作儀礼」
 - ③真鍋昌弘「早乙女とほととぎす—田植歌発想の根底として意識しておかねばならない呪術的構図—」
 - ④小野恭靖「日本の稲作農耕歌謡の一特徴」

(3) 2009年「東アジア(日本・中国・韓国)における歌謡の比較研究」国際シンポジウム(関西外国語大学)

- ①小野恭靖「日本の農耕歌謡研究における諸問題—『鄙廼一曲』所収民俗歌謡と近世流行歌謡—」
- ②永池健二「日本と韓国における歌謡と民俗の比較研究の方向性」
- ③櫻井龍彦「[歌掛け]をめぐる比較研究の課題」
- ④牛承彪「科研費による日本・中国・韓国における歌謡の比較研究」

(4) 国内・海外講演

- ①2007年北京大学(真鍋昌弘「東アジア(日本・中国・韓国)における歌謡の比較研究」)
- ②2007年中国伝媒大学(真鍋昌弘「東アジア(日本・中国・韓国)における歌謡の比較研究」)
- ③2008年中国伝媒大学(真鍋昌弘「田植草紙の構造・表現・背景について」)
- ④2008年北京師範大学(真鍋昌弘「日本中世歌謡における都市と農村」)
- ⑤2008年韓国民謡学会(真鍋昌弘「日本民謡における類型表現の諸相」)
- ⑥2008年日本歌謡学会(真鍋昌弘「歌謡における日本と中国」)
- ⑦2008年土佐清水市公民館(井出幸男「花取り踊りの生成と流伝」)
- ⑧2009年韓国日本学会(真鍋昌弘「川端康成『雪国』の中の俗謡」)
- ⑨2009年日本全国図書館長会議(真鍋昌弘「歌謡・民俗行事における日本・中国・韓国—いくつかの具体例を辿って比較する」)
- ⑩2009年韓国第3回アジア大綱引きシンポジウム(櫻井龍彦「綱引き—稲作農耕文化と海洋漁撈文化の結合」)

[図書](計 2 件)

- ①櫻井龍彦・大仙市教育委員会『秋田県大仙市民俗文化調査報告書』2008年
- ②真鍋昌弘・牛承彪『東アジアにおける農耕文化とウタ』(国際シンポジウム資料集)2009年

[産業財産権]

○出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

真鍋 昌弘 (MANABE MASAHIRO)
関西外国語大学 外国語学部・教授
研究者番号：70084168

(2) 研究分担者

櫻井 龍彦 (SAKURAI TASTUHIKO)
名古屋大学大学院・国際開発研究科・教授
研究者番号：60170643

(3) 研究分担者

永池 健二 (NAGAIKE KENJI)
奈良教育大学・教育学部・教授
研究者番号：60237493

(4) 研究分担者

小野 恭靖 (ONO MISTUYASU)
大阪教育大学・教育学部・教授
研究者番号：50194600

(5) 研究分担者(19年度)

依田 千百子 (YODA TIHOKO)
摂南大学・外国語学部・教授
研究者番号：20149149

(6) 研究分担者(19・20年度)

井出 幸男 (IDE YUKIO)
高知大学・教育学部・教授
研究者番号：20175201

(7)研究分担者

牛 承彪 (NIU CHENGBIAO)

関西外国語大学・国際言語学部・准教授

研究者番号：20460842

(8)連携研究者

()

研究者番号：